



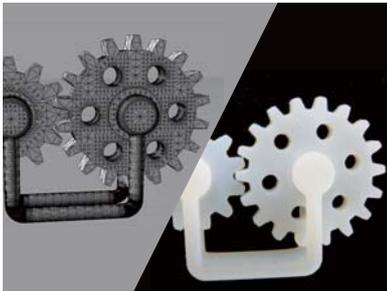
主な仕様

- 本体寸法：
(W)1420mm x (D)1120mm x (H)1130mm
- トレイサイズ：
(X)500mm x (Y)400mm x (Z)200mm
- 最大造形サイズ：
(X)490mm x (Y)390mm x (Z)200mm
- 造形解像度：
(X 軸) 600dpi (Y 軸) 600dpi
(Z 軸) 1600dpi

3D プリンターはモデル材料（光硬化性樹脂）をインクジェット式に射出・積層することで、3次元モデルを造形する装置です。これは工業製品などの開発における製品試作に活用できます。CONNEX 500 による試作製作では主に次のような利点があります。

スピーディな試作ができる

造形に際しては、3次元CADで設計した製品モデルをもとにしたSTLデータから直接試作品モデルを作成できます。そのためモックアップ作成のための手作業や試作金型の製作といった費用を削減できます。また、造形にかかる時間も従来の成型機と比較して短期間で造形することができます。



高精度なモデルが作成できる

ハイクオリティモードでは積層幅 16 μ m、ハイスピードモードでは 30 μ m で造形を行うため、なめらかな曲面や細部まで精巧なモデルも造形できます。これにより部品の組み合わせで駆動する製品のようなモデルも造形でき、部品の動作確認を行うといったことも可能です。



多様なモデル材料

CONNEX 500 は多くのモデル材料が用意されており、これらから使用するモデル材料を選ぶことができます。透明な材料や色つきの材料といったものの他に、ゴムのような軟質タイプの材料も使用可能です。これにより目的とする試作品の完成に近い材料で試作を行うことができます。



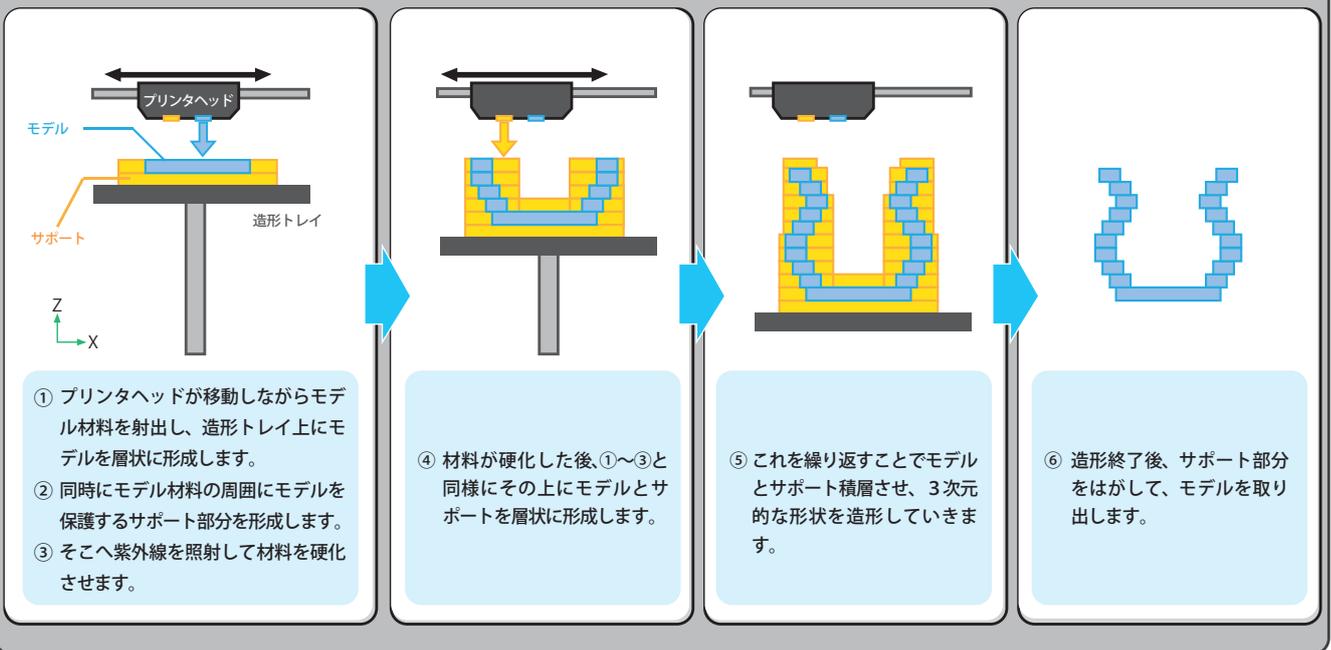
複数のモデル材料による造形が可能

CONNEX 500 は同時に2種類のモデル材料を使用して造形が可能です。これにより2種類の異なるモデル材より形成されるモデルが造形でき、異なる材料のアセンブリモデルや、シースルーモデルも造形できます。

また2種類のモデル材料を積層時に混合させて造形することで、特性を掛け合わせたモデル材料で造形することができます。例えば、硬質なモデル材料と軟質なモデル材料から適度な柔軟性を持つ材質のモデルを造形したりすることができます。



3D プリンタの造形プロセス（模式図）



主なモデル樹脂

FullCure720 半透明樹脂



VeroWhitePlus (FullCure835) アクリルベース 白色



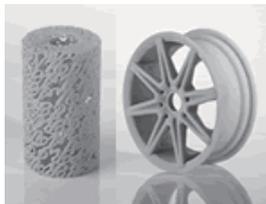
VeroBlack (FullCure870) アクリルベース 黒色



VeroClear (FullCure810) 透明樹脂



VeroGray (FullCure850) 灰色樹脂



TangoBlackPlus (FullCure980) ラバーライク 黒色樹脂



設備の利用について

本装置は設備利用などでご利用いただけます。

設備使用料 **8,820 円 / 時間**

※造形するモデルにより、必要な時間は異なります。
 ※上記の設備使用料のほかに、CAD データ調整のための設備使用料が必要な場合があります。

2018年3月現在

お問い合わせ

山梨県工業技術センター

甲府技術支援センター デザイン技術部

TEL : 055-243-6111 (代表)

E-mail : yitc-kit05@pref.yamanashi.lg.jp